

令和3年度奈良県公立高等学校入学者特色選抜学力検査問題 出題概要【国語】

1 出題の特徴

読書について、自由に考えや思いを綴った阿久津隆の随筆を素材とした。古典については、親しみやすく、かつ自ら考えることができるような古典を素材とする観点から、平易な文体で書かれた、鎌倉時代の兼好法師による随筆『徒然草』を素材とした。

これらの素材を基に、国語の基礎的な事項が身に付いているかをみるとともに、内容の正確な理解ができるかをみた。

さらに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにすることをうたった学習指導要領「国語」の趣旨を踏まえ、同じテーマで作成された新聞広告とラジオ広告の台本を比較し、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くことができるかをみた。

2 各問題の概要

問題❶ 「読書」について、考えや思いを綴った随筆を素材として、漢字の読み書きの力や、語句の意味、内容の理解、楷書による書写などの基礎的・基本的な事項が身に付いているかをみた。

問題❷ 古典では、鎌倉時代の随筆を素材として、古典を読むための基礎的な力が身に付いているか、また、古典に親しむ態度が定着しているかをみた。（四）では、文章に表された筆者のものの見方や考え方をとらえることができるかをみた。

問題❸ 「未来のためにできること」をテーマとしたACジャパンの新聞広告を題材として、表現上の特徴に気を付けて読むことができるかをみた。また、同じテーマのラジオ広告の台本と比較し、自分の考えや気持ちを、根拠を明確にして書くことができるかをみた。

【出典】 阿久津隆『本の読める場所を求めて』

2020年7月15日発行、株式会社 朝日出版社